

生

— 茶の湯デザインの
源流をさぐる

Special Exhibition

誕

The Birth of Karamono:

物

Exploring the Origins of
Chanoyu Designs

開館時間 11時～18時

*金曜日は19時まで開館

*入館は閉館の30分前まで

休館日

月曜日、11月24日(火)

※11月23日(月・祝)は開館

主催

公益財団法人泉屋博古館、
毎日新聞社

特別協力

一般財団法人今日庵 茶道資料館、
芦屋釜の里

後援

TOKYO MX

助成

芸術文化振興基金

2026.11.3[※]—12.13^日

前期 11月3日(火・祝)～11月23日(月・祝) 後期 11月25日(水)～12月13日(日)

SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM TOKYO

泉屋博古館東京



茶の湯に
受け継がれた
中国古代の
DNA



泉屋博古館東京
SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM TOKYO



胡銅桃花人
中国明
個人蔵

● 茶の湯デザインの三〇〇〇年史——中世日本では、大陸との交流のなかで喫茶の風習がもたらされ、やがて「茶の湯」として独自の伝統文化を形成していきます。喫茶に用いられ、そして喫茶の場を彩る道具には「唐物」とよばれる大陸の文物が珍重され、当時の人々の価値観や美意識による選別を経て、いわゆる「名物」として評価されるものも登場しました。本展ではこうした「唐物」が誕生する過程を、はるか中国古代にまでさかのぼってご紹介し、胡銅（古銅）とよばれる金属製の花入を切り口として、金工品や陶磁器、漆工など、素材を越えた共通性にも着目しながら、茶の湯デザインを東アジア文化史のなかに再定位することを試みます。さらに、これまで未解明であった胡銅花入の製造技術にせまる特集コーナーも設け、最新の研究成果もあわせてご紹介いたします。

Ancient Chinese DNA



胡銅桃尻花入
中国・明 個人蔵



胡銅桃尻花入
中国・明 個人蔵

重要文化財 青磁繪花茶碗 銘馬蟬絆
中国・南宋 東京国立博物館所蔵
Image: TMN Image Archive
(後期展示)

国宝 紙張散花文金目茶碗
中国・南宋 相国寺
(前期展示)



胡銅桃尻花入
中国・明 個人蔵

鼎文己尊 中国・殷
泉屋博古館

国宝 青磁鳳凰耳花入 銘万声
和泉市久保記念美術館
中国・南宋



雲龍釜 日本・室町 漢陽寺



重要文化財
(伝)牧給遠浦帰帆図
中国・南宋
京都国立博物館
(前期展示)

1 講演会「胡銅の茶の湯文化史」

日時 11月3日(火・祝) 14:00~15:00
講師 伊住禮次朗氏(茶道資料館副館長)
※要事前申込・要観覧券

2 記念シンポジウム 「日本伝統文化と中国金工品」

日時 11月29日(日) 14:00~17:00
講師 池坊専宗氏(華道家・写真家)
伊住禮次朗氏(茶道資料館副館長)
新郷英弘氏(芦屋釜の里資料館館長)
山本 堯(泉屋博古館学芸員)
※要事前申込・要観覧券

3 〈アートwith〉レクチャー 「倣古創新 —芦屋釜と中国青銅器に学び」

日時 11月27日(金) 17:30~18:30
講師 樋口陽介氏(芦屋鑄物師)
参加費 500円
※要事前申込・要観覧券・要参加費

4 スライドトーク

日時 11月12日(木) 14:00~15:00
講師 森下愛子氏(泉屋博古館東京学芸員)
日時 11月28日(土) 14:00~15:00
講師 山本 堯氏(泉屋博古館学芸員)
※要観覧券※当日11時より整理券配布(定員により次第、締め切らせていただきます)。

※各プログラムの詳細、お申込みについては当館ウェブサイトをご覧ください。※予約制のイベントは、10月19日(月)正午よりホームページにて受付開始予定(先着順)。

【入館料】

一般1500円(1300円)、学生800円(700円)、18歳以下無料
*学生・18歳以下のかたは証明書のご呈示が必要です。*20名様以上の団体のかたは()内の割引料金。*障がい者手帳等をご呈示のかたはご本人および同伴者1名まで無料。*本展2回目のご来館時にチケットの半券ご呈示で1名様1回限り半額。

【公式オンラインチケット】

お得な前売券(2026年9月14日~11月2日販売)や、スムーズに入場できる入館券(2026年11月3日~12月13日販売)などについては、こちらのQRコードからご確認ください。



泉屋博古館東京

SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM TOKYO

〒106-0032 東京都港区六本木1-5-1

[TEL] 050-5541-8600(ハローダイヤル) <https://sen-oku.or.jp/tokyo/>

[アクセス案内]

●東京メトロ・南北線「六本木一丁目」駅下車 北改札正面出口より屋外エスカレーターで3分

●日比谷線「神谷町」駅下車・4b出口より徒歩10分

●銀座線「溜池山王」駅下車・13番出口より徒歩10分

●休館日・開館時間および展示内容を変更する場合がございます。

当館のホームページ、SNS等で最新の情報をご確認ください。

f @SenOkuHakukoKanTokyo X @SenOkuTokyo

ig @senokuhakukokanmuseum_tokyo



泉屋博古館東京